

KITAKYUSHU CITY SDGs

北九州市が取り組んでいるSDGsのさまざまな活動。

今回は紙ゴミのリサイクルとそれにまつわるプロジェクトを「北九州Z世代」の皆さんと取材しました。

北九州Z世代 meets 「えこっパー」

北九州市にゆかりのあるZ世代の若者がSDGs未来都市を盛り上げるべく、「えこっパー」の製作工程や、魅力について取材しました。

#エコプレ企画

北九州Z世代プロジェクトメンバーが「えこっパー」工場を見学

北九州市にゆかりのある女子大生3人が北九州エコプレミアム認定製品である「えこっパー」を通してその魅力を発信し、SDGs未来都市である北九州市を盛り上げる「エコプレ企画」。今回は、北九州市立大学1年三栗礼真と九州国際大学3年佐野真望、北九州市出身で台湾にある開南大学3年福田未実の「キタキューシスターズ」がお届けします。

エコプレ企画について詳しくは
「#エコプレ企画」で検索！



北九州紙「えこっパー」

- 牛乳パック・古紙を再利用した、
再生紙100%のリサイクルトイレットペーパー
- ロールの長さが130m / 通常の2.4倍(通常55m)
- 芯なし穴(1ロールあたり5gのゴミ軽減)
- 環境にやさしい無漂白で柄は「無地」と「ていたんプリント」の2種類
- ソフトな肌触りで使い心地が快適
- 北九州市内のお店で購入可能
(サンリップ・マルショク・イオン・サンキュードラッグ等)
- 1パック購入で1円寄付される

北九州エコプレミアムについて

環境への負荷が低いことを新しい付加価値として捉えた製品や技術、産業活動を「エコプレミアム」と定義し、北九州発のエコプレミアムを選定するものです。選定された場合は、北九州市がPRの支援を行っています。(本記事もそのPRの一貫です。)

エコプレHPはコチラ▶



北九州Z世代プロジェクトについて

北九州にゆかりのあるZ世代(1995年～2010年頃に生まれた世代)の若者が有志で集まり、産官学連携で行うプロジェクト。北九州のさまざまな分野における魅力を若者視点で発信している。



「北九州Z世代プロジェクトメンバー」のプロフィールや「えこっパー」から見える世界などをInstagramやTikTokで公開中！

[企画運営]北九州市環境イノベーション支援課 / 株式会社Mahal,KitaQ

SPECIAL THANKS

波多野菜央 from music works ASAOKAWA
機内動画作詞・ラップ
「我らのえこっパー」



Q.1

「えこっパー」誕生のきっかけ

2000年頃に北九州の紙ゴミをリサイクルしようという動きがあったことです。その中で、牛乳パックを中心とした一般的に溶けにくい紙を大分製紙では溶かすことができました。そこでその技術を駆使し、北九州市と共同で企画・開発して生まれたのが古紙100%のトイレットペーパー「えこっパー」なんです。

Q.2

「えこっパー」の名付け親は小学生だった！？

北九州紙「えこっパー」という名前は、北九州市の小・中学校の公募で決めました。中でも多かった「北九州紙」というフレーズと当時小学4年生だった女の子が唯一、「えこっ」はひらがな、「パー」はカタカナをつけていて小さい「っ」までがひらがなであることに何か想いがあるのだろうと感動し、そのまま採用することになりました。

Q.3

さまざまな古紙を無漂白で白くできるのはなぜ？

まず前提に、原材料の素材が白いことが重要です。そこからインクだけを取って綺麗な紙を作るという技術を開発しました。インクを取り除く際にできるだけ薬品を使わない方法です。インクを取り除く泡の粒径を計算し、インクだけを浮かせて、繊維は浮かさないようにし、分離させます。



北九州紙「えこっパー」製造会社紹介

大分製紙株式会社

「えこっパー」を製造している大分製紙は、大分県に本社を置く製紙会社で、古紙再生により自然にやさしく、人にもあたたかいたいトイレットペーパーを中心に、多種多様な紙製品を販売している家庭紙のトップメーカー。時代の変化に適応した新技術と、ものづくりへの情熱によって、高品質で低環境負荷の実現を目指している。

大分製紙株式会社

大分県大分市錦町2-15-27
TEL: 097-534-7777
<http://www.wata-seishi.com>
大分製紙 北九州営業本部
九州製紙 北九州工場
福岡県北九州市八幡東区前田洞2-1

